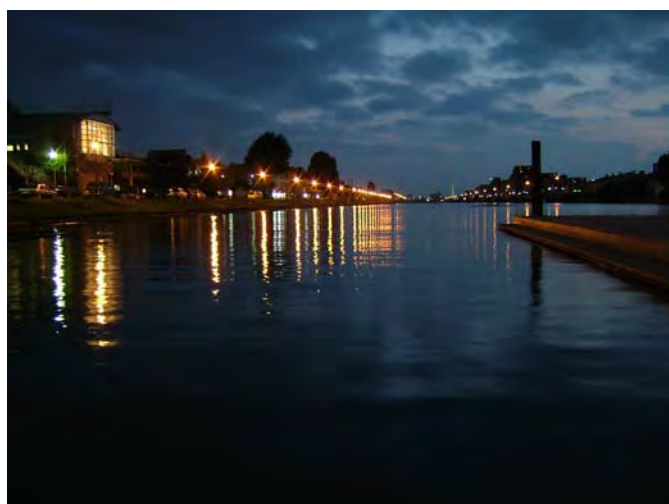


戸田ボートコース周辺景観づくり推進地区 景観づくり推進計画のあらまし



目次

1. 景観づくり推進地区の指定
 - (1) 景観づくり推進地区 1
 - (2) 地区の指定に伴う行為の届出 2
2. 戸田ボートコース周辺景観づくり推進地区 景観づくり推進計画の解説
 - (1) 景観づくり推進計画の決定年月日 3
 - (2) 地区の名称・位置・区域 3
 - (3) 景観づくりの目標 3
 - (4) 景観づくりの方針 3
 - (5) 景観づくりの基準 4

1. 景観づくり推進地区の指定

(1) 景観づくり推進地区

戸田市都市景観条例に基づき、拠点的な地区やシンボルロード沿道など、戸田の顔となるような地区について、市が主体となって重点的に地区の特性を活かした景観づくりを推進するために、その地区を「景観づくり推進地区」として指定することが出来ます。

景観づくり推進地区では、景観づくり推進計画に沿った様々な景観づくりの取り組みを、積極的に進めていきます。

◆景観づくり推進地区に関するQ&A

Q&A

景観づくり推進地区に指定するメリットは？

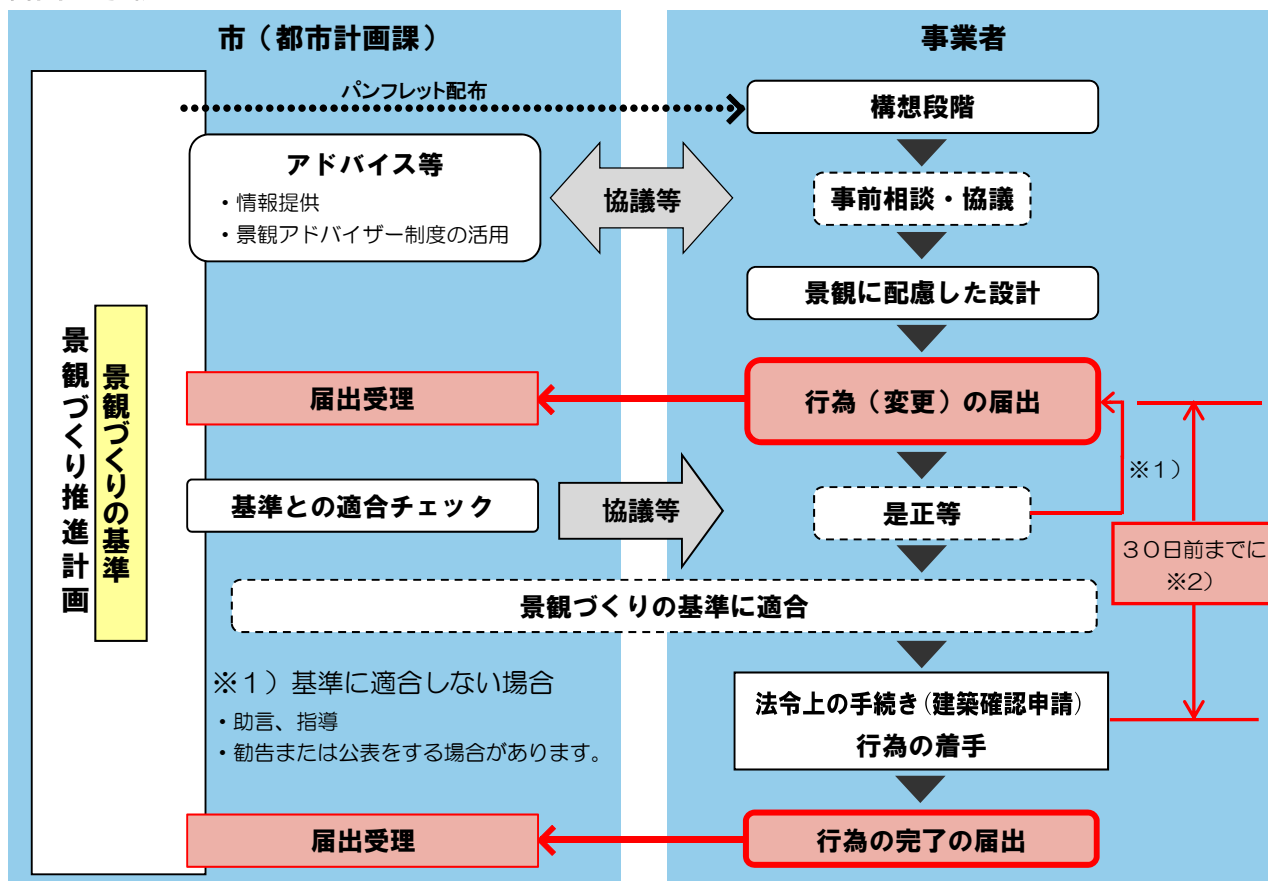
- 景観づくり推進計画の目標や方針に沿って、公共空間の景観づくり事業や、その他景観づくりの活動を推進しやすくなります。
- 景観づくり推進計画の基準に沿って、行為の届出をしていただくことにより、地区の景観にふさわしい建築物等の景観づくりを誘導しやすくなります。

(2) 地区の指定に伴う行為の届出

地区の指定を受け、景観づくり推進計画を定めると、規模を問わず建築物・工作物・広告物などの新築等の際は、事前に行為の届出が必要になります。

出来るだけ早い段階で相談していただくことで、景観面からも事業面からもより良い設計を行うことが可能となります。

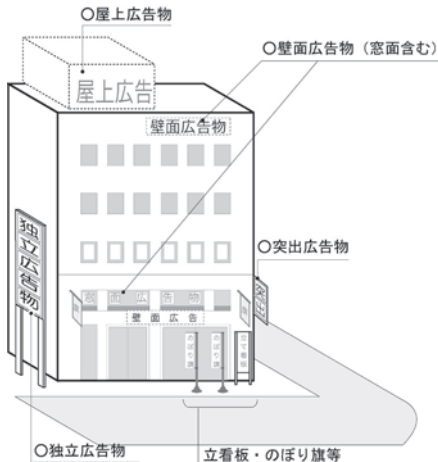
◆届出の手続き



※2) 法令上の手続き（建築確認申請）を要する場合は、その手続きを行う日の30日前までに、法令上の手続きを要しない場合は、行為に着手する日の30日前までに届出してください。

◆届出対象行為

景観づくり推進地区内で次の行為を行う際には、事前に行為の届出が必要になります。

建築物	新築，増築，改築，移転， 大規模な修繕又は模様替え，外観の過半にわたる色彩の変更	
工作物	新築，増築，改築，移転，除却，大規模な修繕又は模様替え，外観の過半にわたる色彩の変更	【例】 ○垣、さく及び門 ○日よけ（その支持物を含む。） ○立体駐車場及び駐輪場 ○街灯及び照明灯
広告物	表示，移転，内容変更	【例】 
その他	市長が景観形成に影響を及ぼすおそれがあると認める行為	

◆行為の届出に関するQ&A

Q&A

基準と合っていない場合は直さなければいけないのか？

- 今ある建物などで基準と合っていない場合でも、上記の表に示す行為を行わない場合、直ちに現状を変更する必要はありません。
- 建て替えなどを行う際に、出来る限り工夫して、地区の景観と調和を図っていただくことを想定しています。

Q&A

自由にデザインすることはできないのか？

- 基準は個々の建築等の創意工夫を否定するものではなく、周辺の景観との調和の中で優れたデザインの建物が増えていくことは大歓迎です。
- また、戸田市では景観アドバイザー制度を設けており、デザインや設計について専門的なアドバイスを受けることができます。

2. 戸田ボートコース周辺景観づくり推進地区景観づくり推進計画の解説

(1) 景観づくり推進計画の決定年月日 平成19年7月25日決定

(2) 地区の名称・位置・区域

名称：戸田ボートコース周辺景観づくり推進地区（平成19年5月25日指定）

区域：戸田市戸田公園の一部

地区の位置



(3) 景観づくりの目標

水辺空間と一体化した美しい戸田ボートコース沿岸景観の形成

—おしゃれで心地良い水辺景観づくり—

戸田市の顔としてふさわしい、誰もが愛着を持てるような、水辺に映える美しい沿岸景観の形成を目指します。

(4) 景観づくりの方針

方針1：シンボルである戸田公園の魅力向上を図る

・戸田市のシンボルとして、艇庫等の景観誘導による沿岸の景観づくりや、公共空間の整備を検討し、さらなる魅力向上を図ります。

方針2：緑や水の映える街並みをつくる

・緑や水が映える、落ち着いたまち並み景観を維持するとともに、より魅力的なものとなるよう誘導します。

方針3：安心して楽しく歩けるユニバーサルデザイン公園をつくる

・誰もが安心して利用できるような公園内の環境づくりを検討します。

方針4：美しいボートコースの魅力を誰もがいつでも享受できる環境を整える

・誰もが美しいボートコースの魅力を享受できるよう、市民サービス等の施設や、案内サイン等の設置を検討します。

方針5：市民・事業者・ボート関係者との協働により美しい景観を維持する

・市民、事業者、ボート関係者等の景観づくりに関係する主体が協働し、それぞれができることをやることで、美しい景観を維持、創出する体制づくりを検討します。

(5) 景観づくりの基準

1) 艇庫の並ぶ落ち着いた景観を維持する基準

●スカイライン

基準：ボートコースらしいまち並みの形成に配慮し、スカイラインを協調しましょう。

◆低層を主体とした特徴的な艇庫群のまち並みに配慮し、隣り合う建物と軒線を揃える、屋根形状等を工夫するなど、スカイラインを協調しましょう。

※スカイライン：建物の屋根や軒の連なりをいいます。

＝解説＝

リズム感のあるスカイライン

形状は違って、リズム感のあるスカイラインとなるように工夫する



軒線の協調

隣り合う建物と軒線を揃える

●屋上設備や屋外設備

基準：屋上設備や屋外附属設備等は、美しい水辺景観にふさわしくするため、配置やデザインを工夫しましょう。

◆水面や水辺対岸から屋上設備や屋外設備が露出しないよう、配置の工夫やルーバーや植栽等による修景、建物と一体的なデザインとするなど違和感のないように工夫しましょう。

◆給排水管・ダクトなどの外壁に附帯する設備は、目立たない位置に配管する、または壁面と同系色にするなど、デザインを工夫しましょう。

＝解説＝



外壁と同じ素材の修景壁による屋上設備の目隠し

屋上設備が見えないよう修景している例



屋外設備が目立たないよう壁面と同系色にしている例

●夜間照明の演出

基準：水辺の映り込みに留意し、屋内からの光の漏れや外構を演出する照明計画としましょう。

- ◆点滅照明や映像画面、サーチライト等は設置できません。
- ◆水辺の暖かい色の街灯（高圧ナトリウム灯）と調和するよう、屋内照明や外構照明も暖かみのある電球色（約 3000K＝ケルビン）を基調としましょう。

＝解 説＝



現在の暖かい色の街灯によるポートコースの夜間



電球色の照明を用い、屋内から光の漏れを演出している例



外構を演出する照明計画の例



この地区にはあまり好ましくない白色光の例

●色彩

基準：色味が少ない色彩で構成されている明るく穏やかな水辺の彩りを継承しましょう。

- ◆外壁の基調色は、現況の色味が少なく明るい色彩と調和するよう、原則として「戸田まちの彩りガイドライン」における高明度・低彩度色とします。（下表参照）

色相	N（無彩色）	1. 25YR～ 6. 24YR	6. 25YR～ 3. 74Y	3. 75Y～ 1. 24GY	その他
明度	8.0 以上	8.0 以上	8.0 以上	8.0 以上	8.0 以上
彩度		1.25 以下	1.75 以下	1.25 以下	0.75 以下

- ◆屋根の色彩は、外壁の基調色と調和するものとします。（下表参照）

色相	N（無彩色）	1. 25YR～ 6. 24YR	6. 25YR～ 3. 74Y	3. 75Y～ 1. 24GY	その他
明度	外壁の素材、色彩等との調和を図るものとする。				
彩度		1.25 以下	1.75 以下	1.25 以下	0.75 以下

- ◆窓枠、テント、シャッター、外壁等に使用するアクセントカラーは、大学・企業カラー以外の多色使いを避け、かつ各立面積の 1 / 10 を超えないものとしてください。

＝解 説＝

× 好ましくない例

○ 配慮した例



明るい色彩の艇庫の例



アクセントカラーを上
手く利用した艇庫の例

● 広告物

基準：水辺景観を損なわないよう、落ち着いた景観を維持しましょう。

- ◆原則として自家広告物以外の屋外広告物は設置できないものとします。
- ◆市民サービス等に必要なお店（レストランやカフェ）などが設置され、屋外広告物を掲出する場合は、水辺景観を損なわない2階以下に設置してください。
- ◆壁面の名称サインや校章、或いは独立型の名称サイン等の自家広告物を設置する場合は、おしゃれなサインにより落ち着いた水辺景観を演出するよう工夫しましょう。

＝ 解 説 ＝

・現在、艇庫の名称サイン等の自家広告物以外の広告物は設置されておらず、将来的にこの美しい景観を継承していくことを基本とするものです。



水辺景観を損なうような屋外広告物は設置されていない落ち着いた景観

2) 彩りのある水辺の景観を育てていく基準

● 敷地の際

基準：敷地境界は公園及び水辺とつながる重要な空間であるため、水辺を彩り、開放感や心地良さを演出するしつらえとしましょう。

- ◆水辺沿いの敷地境界は、公園や水辺につながるオープンな空間として、芝や植栽、ボードウォークなどで演出を図るよう工夫しましょう。
- ◆艇庫前のコンクリート床なども一部緑化するなど、無機質な路面が目立たないように工夫しましょう。
- ◆隣接艇庫との敷地境界は、公園内にあることを認識し、できるだけ塀やフェンスで囲わず、建物でセキュリティを確保するよう工夫しましょう。

＝ 解 説 ＝



ウッドデッキによる工夫した例



芝による演出した例



水辺との境界を緑で演出した例

●花や緑による演出

基準：水辺植生に適した植栽や花により、水辺景観に季節の彩りを添えるような工夫をしましょう。

◆季節ごとの水辺景観の変化を豊かにするために、植栽やプランター等を設置するなど、花や緑による演出を工夫しましょう。

＝解 説＝



緑化により水辺を演出した例



植栽を設置して緑を演出した例



問い合わせ先

戸田市 都市計画課 都市景観担当

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田 1-18-1 tel.048-441-1800 (内線 320)